

## 令和 7 年 第 2 回定例会一般質問

順序	氏 名	質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
1	倉 地 清 子	<p>1. 福祉タクシー助成対象者への支援拡充について</p> <p>2. 中学校部活動地域移行について</p>	<p>八雲町では高齢者や心身に障がいがある方が快適な生活を送ることを目的に、社会参加や日常生活の中でタクシーを交通手段として利用する場合に、タクシーチケットを交付して料金の一部を負担している。</p> <p>落部地区や黒岩地区などと、市街地八雲地域では中心部に移動するための交通距離に大きな格差があるが、この格差是正をどう考えるか。</p> <p>また、高齢者の社会参加をより有効的に促すために、タクシーチケットをどのように活用させていくか、町の考えを伺います。</p> <p>国は、少子化が進む中、将来にわたり生徒がスポーツ、文化活動に継続して親しむことができる機会を確保するため、令和4年12月に学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドラインを策定し、令和5年度から7年度を改革推進期間とし、地域の実情に応じて、早期の地域活動への移行実現を目指すとした。</p> <p>八雲町においても部活動の段階的な地域以降の方向性を検討する八雲町部活動地域移行検討協議会を設置し、子供たちの新たな環境の構築を目指しています。</p> <p>部活動の地域移行は、多くの自治体が様々な課題を抱え、先の見えない状況にある中、最近道南の自治体でも地域移行へ向けての動きを見せ始めました。</p> <p>現在4つの中学校を持っている八雲町は、部活動地域移行をどのように進めていくのか考えを伺います。</p>	<p>町 長</p> <p>教 育 長</p>

## 令和 7 年 第 2 回定例会一般質問

順序	氏 名	質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
2	横田 喜世志	<p>1. 上水道の老朽管対応について</p> <p>2. 町営住宅の空き家について</p>	<p>本年3月定例会の予算審査特別委員会において、同僚議員より下水道事業会計で下水道管の現状について質問があり、下水道本管の総延長や耐用年数50年から、現在計画的な補修や改築工事を行っていない答弁を受けておりますが、埼玉県八潮市で発生した道路陥没事故以降には、下水道管破損以外に、上水道管の漏水により冠水したニュースが何件か流れています。</p> <p>八雲町の上水道管も老朽化していることから、いつ漏水してもおかしくはないと思われるが、対処はどの様になっているのか。誰もが公平で安定した生活を送れるための施設整備計画と将来の展望について、お伺いします。</p> <p>町営住宅の空き家が目立ち、その役割があまり果せていないと痛感しますが、空き家は何件になっているのでしょうか。</p> <p>近隣住民の方々からなぜ入居させないのかとよく聞かれます。</p> <p>老朽化し近々取壊し対象である住宅であるとか修繕中であるとかであれば理解できますが、高齢者など民間アパートに入れず、住む場所に困っているときに入居できることこそ、町営住宅の存在意義であり、町の役割ではないのでしょうか。</p> <p>空き家にしておくよりは、ひとりでも多く入居してもらった方が、町と町民にとっても良いと思いますので、柔軟な対応で入居者を増やすべきと考えますが、いかがでしょうか。</p>	町 長

## 令和 7 年 第 2 回定例会一般質問

順序	氏 名	質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
3	三 澤 公 雄	<p>1. 子どもたちの“まちづくりの意見”を活かす仕組みを作ろう</p> <p>2. 声無き声にも耳を傾ける・・・町である為に質問する。八雲町犯罪被害者等支援条例の「等」は何を示しているのか？</p>	<p>八雲町の子どもたちのすばらしい意見の表明を、これまで何度も聴いてきた。先日も、八雲ライオンズクラブ主催の「少年の主張 八雲大会」においても幾つものすばらしい主張が聴けた。これらを前にして思うのだが・・・いつまでも個々の意見表明でイイのだろうか？と。</p> <p>子どもたちの社会の中で意見を出し合い、それらをまとめ、分野を問わずに政策提言として議会や行政に公式に届く仕組みが有ったのなら・・・八雲町のまちづくりに多いに役立つのではないか。</p> <p>今ある学校内の組織としての児童会や生徒会に、その機能を持たせるのも方法だろう。「地方自治は民主主義の学校」という言葉がある。これを具現化するためには、子どものうちから“議論をして物事を進める経験を積んで”まちづくりに関わる意義は大きいと思う。</p> <p>八雲町の持続可能性を高めるには「子ども・若者」という未来に生きる世代の意見を少しでも早く取り入れる必要性は高い！なので、子どもたちのまちづくりへの参画の仕組みを作るべき、と考える。如何か？</p> <p>私は、この「・・・等」の中には、「被害者なのだけれども声を上げられなかった人たち」を含むために付けた文言と考えるが如何か？</p> <p>私達の暮らしているこの社会では「被害に遭ったのだけど、声を上げられない方々」が一定数、存在している。</p> <p>被害に遭われた方々にとっては「声を上げると暮らしにくくなる社会」だ、という証左だ。条例の「目的」には「・・・安全で安心して暮らす事ができる地域社会の実現に寄与する事」と明記されている。</p> <p>八雲町では、声を上げられていない「犯罪被害者」には、どの様な手立てを用意しているのだろうか？</p> <p>しっかりとしたプライバシーを守る相談窓口やケアが出来る窓口を設けるべきだろう。</p>	<p>町 長 教 育 長</p> <p>町 長</p>

## 令和 7 年 第 2 回定例会一般質問

順序	氏 名	質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
4	大久保 建一	<p>1. 八雲町に道の駅をつくろう</p> <p>2. 移住定住対策として、空き家バンクの積極的な活用</p>	<p>私は令和4年第4回定例会で「八雲町には、物産の発信基地と観光拠点として、道の駅は必要」という一般質問を行い、町長と議論いたしました。</p> <p>町長は「農産物や海産物を身近に売れる場所を作った方が良く、かなり思っていますので道の駅を実現したい」と答弁しました。</p> <p>それに対し、私からは「できれば今任期中に何かしら形になるような進行具合でやって欲しい」と最後に注文を付けてその質問を終わりました。</p> <p>しかし、現在までその構想が進展しているようには見えません。</p> <p>再度その必要性についての認識と、また、市街地中心部の津波浸水予想区域に対する防災機能も兼ね備えた道の駅をつくることはできないか、町の考えを伺う。</p> <p>5月22日に行った議会報告会で、町民からいただいた意見の中に「八雲町は、住みたくとも住む場所がない。」という指摘があった。</p> <p>確かに不動産サイト等を調べてみても、八雲町内の空き物件は、なかなか見つからない。</p> <p>これでは移住定住が進むわけがない。</p> <p>八雲町のホームページ内にある空き家バンクも、古い一軒家が2019年から更新されず、載っているだけで、ずっと動きがないことが推察される。</p> <p>その一方で、町民の人口は減り続けている現状から、町内に存在する空き家は確実に増えているはずである。</p> <p>何とかその資源を、空き家バンク等のマッチングで、積極的に有効活用していけないか、町の考えを伺う。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p>

## 令和 7 年 第 2 回定例会一般質問

順序	氏 名	質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
5	赤 井 睦 美	<p>1. 子ども達にとってより幸せな教育環境を！</p> <p>2. 共助、公助の推進について</p>	<p>少子化による課題はますます増えていくと思いますが、子ども達の教育、子育て環境の課題について、町長はどのようにお考えでしょうか。特に少子化による児童生徒の減少に、一部地域から学校の統廃合が必要との声も聞かれ、話し合いも進んでいるとお聞きしました。そこで次の点についてお伺いします。</p> <p>①今後の学校の適正配置について町長はどのようにお考えでしょうか。</p> <p>②そのために、どのような調査や話し合い、検討をされていますか？</p> <p>③小規模校のメリット・デメリットをどのようにとらえているのでしょうか？</p> <p>④既に今までも統廃合された学校がありますが、校舎がなかなか活用されていません。校舎の活用方法も並行して考えるべきだと思いますがどのようにお考えでしょうか？</p> <p>⑤2028 年度開校予定の熊石地域の義務教育学校は、今のままでは本来の効果を発揮できないと思いますが、どのようにお考えでしょうか？</p> <p>世界的な異常気象により、各地の災害が大型化しています。そうした報道を日々目にすることで、私たち町民も自分のことは自分で！という気持ちが強くなり、自助に関しては少しずつ意識が高まってきていると思います。</p> <p>そこで、これから高めていかなければならないのは、共助と公助。災害の時はもちろん、町内会活動や地域の活性化には共助や公助が重要になっております。</p> <p>以前実施されたアンケート結果では、「現存のままで」と多くの町内会で回答しているが、現状では将来的に共助・公助が進まない状況と考えられます。</p> <p>過去の答弁においては「地域のコミュニティ確保はますます難しくなっており、町としてはこれまで以上に地域と情報共有を図りながら、地域性を考慮しつつ、職員配置の可能性も視野に入りたい」旨を町長よりご回答いただいているが、その後の実現に向けた取り組みはいかがでしょうか。</p>	<p>町 長 教 育 長</p> <p>町 長</p>

## 令和 7 年 第 2 回定例会一般質問

順序	氏 名	質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
6	関 口 正 博	<p>1. 稲作農業の今後の展望について</p> <p>2. 鉛川観光施設について</p>	<p>町内の稲作はもち米生産が主であり、昭和 63 年道南で唯一の「もち米団地」として指定を受けて以来、生産者の皆様は町内関係機関と連携しながら、八雲町産もち米の知名度向上と販路の拡大に邁進してきた。</p> <p>しかし、農業を取り巻く環境は、従事者の高齢化・担い手の減少を中心にさまざまな課題があり年々厳しさは増している。現状を維持し、安定した農業基盤を守るためには官民一体となった取り組みが必要と考え、次の点について伺う。</p> <p>・学校給食は、優れた農と食の教育の場といわれる。町内稲作農業者にうるち米生産を促し、将来的に町内における学校給食の米飯提供を 100%地元産米へとする取り組みを検討できないか？</p> <p>鉛川観光施設関連において、レクリエーションセンターについては老朽箇所の修繕を実施することが決まり、施設譲渡に向けての道筋が見えてきたが、浄水・温泉設備棟の譲渡に向けた協議の報告は受けていない。これまでこの件については、議会との議論においても様々な意見が出されるとともに賛否も分かれている。これまでの経過も含め次の 2 点について伺う。</p> <p>①浄水・設備棟の譲渡に向けた協議の進捗状況は？                  ②令和 5 年 12 月 13 日の総務経済常任委員会において、鉛川観光施設に対する補助金交付の根拠として、この施設の公共性・公益性についての説明を受けている。あらためて八雲町における公共性・公益性の基準をお示しいただきたい。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p>

## 令和 7 年 第 2 回定例会一般質問

順序	氏 名	質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
7	佐藤 智子	<p>1. コンブ礁アルガリーフの効果は？</p> <p>2. 八雲町の不登校の状況</p>	<p>コンブの着定基質アルガリーフの設置が、道の事業として進められている。事業期間は、令和元～12年、事業負担は国が50%、道が40%、町が5%、漁協が5%となっている。</p> <p>『統計 八雲』のデータを見ると、平成時代は2年毎に50トン前後、30トン前後と増減を繰り返し、水揚げ高も1億を超える年があった。しかし、令和に入ってから水揚量が低下傾向にあり、令和5年13トン。6年度に至っては、9トンと下がる一方である。</p> <p>アルガリーフが設置されるようになってから、計画期間のほぼ半分が過ぎようとしている。町負担5%とはいえ、資金投入に見合う結果が出ていない。道内の他の自治体での成功例はあるか。また、せっかく設置されたアルガリーフの弱点とは何か。十分活かすための手立てはあるのか伺う。</p> <p>今、全国で小中学生の不登校が、この10年で急増しており、34万人を超えている。これは、子どもたちのSOSだと思う。</p> <p>八雲の現状は、どうなっているか。増加傾向にあるのか、減少傾向にあるのかを含め、どのような分析がなされているか。また、相談体制の整備や学校、家庭以外の第3の居場所の充実が求められていると思うが、どのような考え方で、子どもや保護者と向き合っていくのか。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長 教 育 長</p>